はじめに

利賀村では朝晩は肌寒く、日中でも涼しく過ごしやすい日々になりました。センターの窓から山を見上げると、夏の緑色から茶色や黄色、赤色など秋の色へ刻一刻と変化することを日々感じます。夏が終わってしまうのは寂しいですが、利賀の素敵な秋や冬がやってくるのはまた楽しみでもあります。

子ども達が思い思いの夏休みを過ごしセンターに帰園した時には「夏休み楽しかった！終わるの早すぎるー…」「２学期の活動も楽しみ！」「キャンプしたい！」などと、夏休みへの名残惜しさと今から始まることへのワクワク感を共に抱えながら、それぞれの２学期をスタートさせていました。そして早くも１か月が経過。子供たちはキャンプや竹細工、そして新たにスタートした太鼓の練習などに日々打ち込んでいます。それぞれの活動で個人の技を磨くと共に、助け合いながら時にはぶつかり合いながら少しずつ成長していく姿を嬉しく見守っています。

秋と言えば、「食欲の秋」「スポーツの秋」「読書の秋」など様々な〇〇の秋があります。私個人的には脂の乗った美味しい熊や山鳥でも食べたいなぁと呟いてみますが、それはさておき…。昨年、利賀村の私の家の近くでは１１月４日に初雪が降りました。あっという間に過ぎゆく利賀の秋。留学生にはぜひ利賀でしか経験できない〇〇の秋を、それぞれに発見し堪能して欲しいと思います。

長岡 悟

《８・９月の活動カレンダー》

8月

- 21日　帰園
- 22日　川遊び・竹細工
- 23日　デイキャンプ
- 24日　畑作業
- 25日　川遊び
- 28日　川遊び
- 29日　デイキャンプ

9月

- ４日　ホームステイ開始
- 11日　センター入り
- 11・12日　河童の郷キャンプ
- 18日
- 19日
- 20日

} 個人体験活動日

〒939-2516　富山県南砺市利賀村坂上 18　南砺利賀みらい留学センター
TEL：0763-77-4103　　FAX ： 0763-77-4037
MAIL：nanto-toga-mirai@p1.tst.ne.jp
WEB：http://www.nanto-toga.com/

８／２２　竹細工

日々の食事に使う箸を作りました。「どれくらいの長さと太さにしよう…？」と悩みながら、割った竹を選び、小刀で理想の形に近づけていきます。「細くしすぎた～！」と言って作り直す人もいれば、「見てー！上手にできたよー！！」と満足げに話す人もいました。「使うの楽しみ！」とワクワクしながら、その日の夕食からマイ箸を使ってご飯をいただきました。

この日以降も竹細工に熱中するする人が多数で、竹のナイフを作っていたり、箸を作り直していたり。外を見れば小刀とやすりを持って竹と向き合っている留学生がいるのが日常になりました。

８／２２・２５・２８　川遊び

帰園してからの数日間の夏休みは毎日のように川遊びに。センター横を流れる利賀川にウォータースライダーを作って遊んだり、「よーい、ドン！」と数人で浮き輪に乗って、誰が一番早くゴールにたどり着けるかを競走したりしました。また、センターから約１km 離れた下流からセンターに向かって「勢いが強くて進めない…」と川の中を歩いたり、水深約 1.2m ある所へ行き、叫びながら飛び込みをしたりして川遊びを堪能しました。

８／２３・２９　デイキャンプ

帰園後２週間は、センター周辺でできる活動をしよう。ということで、２回のデイキャンプ活動を行いました。１回目のデイキャンプは、センター前のグラウンドで、用意された薪を使って、火起こしと飯盒炊爨の基本を再確認しました。

１回目で分かった反省点を踏まえ、今度は自然の中での野外調理に挑戦しました。活動場所のロンレー子ども村へは、坂上の１本杉から山道を歩いて向かいました。

途中、「まだ～？」「拾った薪が引っかかって歩きにくい。」などと、背の高い草に辟易した様子の子どもたちでしたが、ロンレーへ到着すると「ロープウェイやってもいい？」「はないちもんめやろう！」と元気いっぱいに。ひとしきり遊んでから、グループに別れて夕飯作りをしました。夕飯作りは、事前に食材選びから献立作成まで、グループごとに話し合いながら調理をしたので、オリジナリティー溢れる夕飯となりました。

９／１１・１２　河童の郷キャンプ

夏のキャンプの集大成。百瀬川のほとりにある河童の郷へ行き、１泊２日のキャンプを行いました。かまどづくりに火起こし、炊事、釣りなど、これまでの経験を活かしながら全員で分担・協力し、ニジマスのから揚げや野菜たっぷりのラーメン、炊き込みご飯など、おいしい夕食を作りました。夜には火を囲んで団らんし、テントを張って１泊して、「楽しい！」「よく眠れたよ！」と、充実したキャンプになりました。テントや道具の後片付けも徐々にスムーズになってきた留学生。この経験を活かして、次回は冬のキャンプを目指します。

８／２４～　演目練習

育てる会の山村留学では、日本の伝統芸能である太鼓・民舞を体験する活動を行っています。日本各地に残っている伝統芸能の多くは、豊作や豊漁を祈願したりそれらを喜んだりする祭りの中で醸成されてきた文化です。そのことから、年間を通して田畑の作業体験を行う留学生の表現活動の一環として、こうした活動を行っています。

１学期の終わり頃、平村から太鼓をお借りすることができたので、準備を整えてこの日から練習を始めました。まずは 11 月の収穫祭での発表に向けて、これからも練習を積み重ねていきます。

〈　日常の様子　〉

みんなで乗って、
浮き輪の空気を抜く作業中

一人で読んでいたはずが、
気づいたら人が集まってきて…

センターに
シマヘビ出現！！

夕食準備のお手伝いで
つまみ食い

中秋の名月の日、デザートの団子をかけて
じゃんけん大会

今月の畑作業

利賀村に帰村した留学生、まずは夏休み後の畑の様子を観察へ。カボチャや人参、トマトやナスを収穫し、「収穫できると畑って楽しいね！」と嬉しい気づきも。
ピーマンやオクラなどは９月に入っても収穫を続け、食事に出してもらっています。

ー　８月２５日（水）　赤かぶ・大根の種まき

この日は赤かぶや大根、野沢菜などの種をまきました。
畝を立てて種をまく作業は一学期にも経験済み。
「こんな感じだっけ…」と思い出しながら作業し、
一学期よりも短時間で進めることができました。
秋の間、また畑に通いながら、成長を観察していきます。

利賀みらい留学に寄せて

Q. 留学生と生活をして、感じていることは何ですか？

すごく生活にはりがあります。

我が家の夕食は楽しいものです。私が椅子に座っている間に料理が並び、ご飯や汁物が盛られ、後片付けも終わります。

夏休みのこと、家族のこと、学校のこと、未来のこと、時には理科や運動、英語などについての話を聞くことができて楽しく、留学生のジョークも面白いです。

優秀な２人組で責任感も強く、成長が楽しみです。

Q. 留学生に望むことは何ですか？

のびのびと利賀の四季、空気を満喫してください。その時節の行事やイベントも（コロナで残念ですが）利賀に留学して良かったと思えるようにいろいろチャレンジして、やがての人生の糧になればと思います。

関　美寿子 さん
（受け入れ家庭）

《くま爺のつぶやき》

南砺利賀みらい留学
統括主幹　山本

木曜日（９月１６日）の夕方、小学生がクリやトチの実を抱えて意気揚々と帰ってきた。「たくさんどうしたの？」、「学校のクラブ活動で山にでかけ拾ってきたんだよ、おやつに食べようかな」という。昨日は完熟トマトをいただきに子どもたちと農家さんを訪ねると「ほんのりと甘いおやつがあるよ」とヤマボウシをすすめられみんなで素朴な昔のおやつを味わった。秋の利賀村はアケビやブドウ、サルナシ、ムカゴなど自然のおやつの宝庫。昨年は干し柿も作ることができた。秋に続いて冬になったらおやつは薪ストーブで焼いたジャガイモやカボチャを食べてもらおうと考えている。